

かなざきひさを応援する会・会報 20 号 発行責任者 伏見 小枝

葉山町議会平成 14 年第 4 回定例会が開催されました。

(期日平成 14 年 12 月 3 日～12 月 13 日)

葉山町小児の医療費の助成に関する条例が議員提案され、教育福祉常任委員会で継続審査となっております。所得制限なしで、助成を 3 才まで引き上げる内容です。現在、葉山町では、要綱により助成が行われており、13 年度から、所得制限つきで 2 才まで引き上げました。県より、来年度予算で積極的な対応をしたいという方針があり、かなざきひさを含み議員 13 人により、町長へ早期に 3 才まで引き上げるよう、要望いたしました。



<参考> 条例は議会の議決が必要。
要綱は議会の議決は必要ではなく、町長の判断で決定される。

○ かなざきひさの一般質問

今回は、障害福祉施策について、幼児・生徒・成人に分けて質問いたしました。

(1) たんぽぽ教室（学齢期前の子供達の生活訓練会）について

質問と提案	理事者側の答弁
たんぽぽ教室と支援費制度との関連について。	平成 15 年度から、支援費制度の児童デイサービスに移行する。 (町長)
県補助金は現在 600 万円/年であるが、それはどのようになるのか。	減少する。 (福祉環境部長)
事業としての存続は。	県の制度が変わったからといって、即座に変更はしない。児童の想いを十分配慮して改善する。 (町長)
平成 12 年度に、たんぽぽ教室独自の場所として、分館を借り受け、家賃を含む維持管理に、年間 400 万円町税を費やしている。今後の施設対応について伺う。	現在 2 年間の賃貸契約は済ませているが、早急に町有地を幅広く検討する。 (町長)
かなざきひさの考え たんぽぽ教室は、子供達の健全育成の為に、永久に続けなければならない大切な事業です。いつまでも家賃を払い続けることは、町税の無駄遣いにつながるので、町有地に設置場所を見つけることが急務だと思います。	



(2) 町立保育園について

質問と提案	理事者側の答弁
消防署裏での町立保育園新築計画の進捗状況は。	葉山小学校の教員には理解を得たので、今後は各方面へ説明する。 (教育長)
定員は。	80 人。 (町長)
60 人規模の民営の保育園が計画されており、合計 140 人となるが、待機児童数は。	18 人。町外委託は 51 人。 (福祉環境部長)
集団生活を必要とする子供達の為、町立保育園に障害児枠を。	建替え時に、当然検討課題とする。 (町長)
かなざきひさの考え 幼児期に様々な障害のある子供達と交わるにより、接し方を自然に身につけるものです。障害を自然のこととして受け入れる大人に育つ為にも、町立保育園に障害児枠を設けることが、必要不可欠のことです。建替えを機に是非とも考えるべき事だと思われまます。	

(3) 教育研究所について

現在、上山口小学校の旧校舎に設置されている教育研究所では、不登校などの教育相談が行われています。

質問と提案	理事者側の答弁
不登校の子供の人数は。	平成 13 年度は、小学生 9 人・中学生 13 人であった。 (教育長)
対応職員は。	常勤・非常勤を含め 10 人。 (教育長)
傷ついた子供の心を察知する為、全職員に対する勉強会を。	必要だと考える。 (教育長)
(仮称) 教育センターの構想について。	消防署裏に教育委員会を移転し、その中で学校教育課との連携を保ちたい。 (教育長)
民間の専門家との協働は。	新施設の中で、視野に入れて考えたい。 (教育長)
かなざきひさの考え 学校に行きたくても行けない、という不登校の子供達の心の障害を取り除く必要があります。心の治療教育には「教育者」と「心理学者」と「医療」との連携が重要です。ますます教育研究所の役割は大切なものとなるので、関心を持って見続けていきます。	

(4) 作業所について

知的障害者の為のはばたき作業所は、町の委託事業です。今年、民間で、精神障害者の為の作業所「トントン」が立ち上げられました。障害者にとって、複数の作業所があるということは、大変好ましいことです。

質問と提案	理事者側の答弁
作業所「トントン」の町として対応は。	検討中である。 (町長)
はばたき作業所に通所させる為には。	通所判定委員会を組織化したので、申請があれば開催する。 (福祉環境部長)
通所判定委員会のメンバーは。	葉山町育成会長・はばたき作業所所長・福祉課長・民生委員障害部会代表・葉山町社会福祉協議会事務局長・鎌倉保健福祉事務所職員・知的障害者援護施設職員・町保健士で構成される。 (福祉環境部長)
はばたき作業所内で事故が起きた経緯もあり、責任所在を伺う。	通所許可は町が出すので、町が責任を取る。(福祉環境部長)
かなざきひさの考え 各学校に障害児クラスがあるように、各地区に作業所があるのが理想ですが、葉山には現在 1 つしかないので、通所を申請された場合、通所判定委員会では、通所させることを前提に、どのような対応が必要なのかを考えて欲しいと思います。	

『かざらず かくさず ごまかさず』

かなざきひさを町政に送り出し、早 4 年が過ぎようとしております。4 年間の区切りとして、皆様のご要望を受け、かなざきひさが提案し、解決できた主な事項をご報告いたします。

- はばたき作業所の拡充
- 一色小学校区に学童クラブ設置
- ごみ資源化の為、紙の分別収集
- 上山口会館の点字ブロックの修理
- 町道の整備
- 重度障害者にタクシー券交付
- 大型店（スーパーマーケット）へごみ減量化の為の行政指導
- 下り電車の、JR 逗子駅 1 番線乗り入れの増便
- 「葉山郵便局」の信号名の明記
- カーブミラーの設置



編集後記

皆様、新年いかがお過ごしでしょうか。昨年は、金崎ひさは義姉を、伏見小枝は長男を、亡くし、新年のご挨拶は控えさせて頂きました。平成 15 年度第 1 回定例会は 2 月 21 日（金）から開催されますが、その町政報告は、統一選挙が行われますので、新聞折込はできません。かなざきひさを応援する会会員の皆様方には、会報 21 号の紙面においてご報告させて頂きませんが、会員以外の方でご希望の方は、お届けいたしますので、事務局までご一報下さい。2003 年が、安心して心豊かに暮らせる年となりますようお祈り申し上げます。

金崎ひさ

かなざきひさを応援する会会長 伏見小枝

発行者 かなざきひさを応援する会 会長 伏見小枝 発行所「事務局」〒240-0115 上山口 1878-9
 TEL&FAX 78-7961 携帯 090-4076-2425 E-Mail kanazakihi@aol.com